

会 報

第二百四十七號

平成二十六年一月

一般
社団法人 日本工業倶楽部

青少年の育成について

―ロータリークラブと ディレクトフォースの活動―



熊野 隆^{たか}
喜^{のぶ}

現役を退いた私たちにとっての最重要なことの一つに、青少年の健全な育成をサポートすることがある、と思っています。このことは大方の御賛同を得るでしょう。これから、私が所属しているロータリークラブの青少年奉仕と（一般社団法人）ディレクトフォースの理科実験について記します。

ロータリークラブの青少年奉仕

私は国際ロータリー2750地区（東京都の南半分

の地区）の東京城西ロータリークラブに所属しています。一九九六年にロータリアンになりましたので、約十七年になります。2750地区の青少年奉仕委員長を二〇一四―一五年度に務める予定です。

国際ロータリーでは、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕を「五大奉仕活動」と位置づけ、近年特に青少年奉仕に力を入れて来ています。この稿では、国際ロータリー2750地区の青少年奉仕と、東京城西ロータリークラブ独自のジュニア支援活動について記します。

国際ロータリー2750地区の青少年奉仕

・インターアクト・クラブ

奉仕活動を学校のクラブ活動として行う高校生の活動で、社会性を培うことや人格形成を目的とした活動。現在、堀越高等学校を始め十二校で活動が行われています。それぞれのインターアクト・クラブを、地域のロータリークラブが学校と共に支援指導しています。会員数三百五十四名。

・ローターアクト・クラブ

大学生から三十歳までのクラブで、自主性やリーダーシップの育成を目的とした活動。現在、東京西ローターアクト・クラブを始め十四のクラブが活動しています。それぞれのクラブを地域のロータリークラブが支援していますが、日本では若い人達の自由になる時間も限られており、十分な活動が困難な面もあります。会員数百四十名。

・ R Y L A (ライラ Rotary Youth Leadership Awards)
大学生から三十歳までの、青年のリーダーシップを育成することを目的とする活動です。毎年三十一名の青年に二泊三日の合宿研修を行っています。講師の講演を聞き、二晩寝る間を惜しんで同世代の異業種の若者同士で話し合うことは、彼らに大きな刺激を与え、今後への自覚を呼び起こしているようです。

・ 青少年交換
高校生を対象として一年間の海外研修を行います。派遣国はアメリカ・ヨーロッパ・アジア諸国で、先方のロータリーと打ち合せの上で生徒を交換し合います。派遣先のロータリアンの家庭にホームステイし、現地の高校に通って勉学と友人作りを行う青少年友好

大使の一年間は、大変に刺激的で、帰国後の報告を聞いても大きな成長が見られます。また、来日生も、日本語を覚え日本文化に接することや、日本の家庭生活を体験するホームステイによって、日本を理解して帰国して行きます。現在、八名の派遣生・八名の来日生で活動しています。

・ インターンシップ
2750地区ガバナーと東京都教育庁との協定によって、都立高校生のインターンシップ(職場体験学習)を行っています。東京都立芝商業高校や東京都立深沢高校など八校、全生徒数約六百五十名について実施しています。

文科省もインターンシップの必要性を訴えています。が、受け入れ事業所の確保が大きな問題となっています。ロータリークラブでは職業奉仕の具体的な活動ととらえて、協力体制を取っています。

高校生にとっては、社会に出て働く人の姿を見るだけでも良い勉強になっているようです。

東京城西ロータリークラブのジュニア支援活動

私が所属している東京城西ロータリークラブは、クラブ独自の青少年奉仕（ジュニア支援と呼んでいる）を行っています。

・ジュニア支援『杉並区小中学校の課外授業』

約十年前に時の会長が「奉仕活動はお金を出すだけではなく、自ら汗をかいて地域の青少年に役立つことをやろう」と基本方針で打ち出しました。職業奉仕委員長をしていた私が中心となって、クラブの設立地域である杉並区の山田宏区長（当時）や教育委員会と打ち合わせて、『杉並区小中学校の課外授業』を立ち上げました。以来約十年の継続活動となっています。

活動の主なものは

キャリア教育における会員それぞれの仕事の話

職場体験学習の事前授業としての「働くことの意味と社会でのマナーと挨拶」

（杉並区では区内の中学二年生全員に五日間の職場体験を経験させています。）

義務教育を修了する中学三年生は「これからの生き方、感謝するところ」について、グループに分けて話し合う。

小学校六年生を対象に裁判所見学と事前授業としての模擬裁判

など学校の要望に沿う形で活動しています。

毎年約七十校の依頼があり、講師数（協力してくれる会員数）は延べ四十名になっています。小学生や中学生の若い人たちの生き生きした姿に接して、講師の人達も幸せをもらって帰っています。

・未来貢献プログラム（東京城西ロータリークラブ五十周年事業）

東京城西ロータリークラブが五十周年を迎えるにあたって、記念事業として行ったものです。大学生の奉仕活動を支援し、学生に自立と利他の心を養ってもらうことを目的としています。

初年度（平成十二年度）は公募の中から十の奉仕プログラムを支援し、それらの中から五プログラムを優秀賞（最優秀賞五十万円、優秀賞二十五万円）として表彰しました。

奉仕活動を行っている学生の皆さんも、ロータリーに認められ、ロータリアンと交わることによって、自ら成長していくインセンティブを与えられているよう

です。この活動も継続事業として行っていく予定になっています。

ディレクトフォースの理科実験グループ

一般社団法人ディレクトフォースは、二〇〇二年に設立されました。会社の役員や部長クラスの人達は、退職されても有り余る能力とエネルギーと時間を持っています。それを再び社会のために役立てようとの目的です。

主要な業務としては

役員や監査役を求めている企業に人材紹介を行う。

中小企業を対象として経営指導や技術指導を行う。

大学等での講演活動を行う。

毎月、各界の講師を招いての勉強会を開催し会員懇談会を行う。

環境問題への取り組み。

等です

その他に会員相互の懇親のために二十の同好会を組織して活動しています。現在は約六百名の会員が活動しています。

二〇〇九年に理科実験グループがボランティアとしてスタートしました。最近若い人たちの理系はなれが問題視されています。それを憂慮している有志会員が、「自分たちが会社で働いてきたときの技術を生かして、少年たちに理科実験を出前し、理科を好きになってもらおう」と立ち上がったものです。なにしろ、日本を代表する企業の、開発や生産の一線で活躍してきた人たちが大勢います。

最初は手探りで活動でしたが、四年目の今年度は百件に近い依頼が舞い込み、理科実験グループに所属している五十名近い会員は、大変に忙しく活動しています。

出前先是東京都、神奈川県の小中学校が最も多いのですが、気仙沼や南相馬など東日本大震災の被災地にも出かけて行きます。また、科学技術館サイエンス友の会、新丸ビルでのエコキッズ探検隊、三菱みなと未来技術館等にも、依頼されて出向いています。丸の内キッズジャンボリーでも大活躍です。

理科実験のテーマは下記のようなものです。

・墨流しで絵葉書をつくろう——マープリング絵具で

水の上に模様を描き、はがきに模様を写し取る。

・発泡ポリスチレンを使つて表札を作る——ポリスチレンの高温で収縮する性質

・冷却パック——尿素と水による吸熱反応

・紙飛行機をつくる——飛行機の揚力の勉強

・電池を作り風車を回そう——アルミ箔と活性炭と食塩水で電気が発生する

・エタノール船を走らせる——水とアルコールの表面張力の違いの学習

・風力発電所をつくろう——ドライヤーの風でファンを回し電気を起こす

・滑車の実験——定滑車と動滑車による力の作用

・マヨネーズを作ろう——卵黄による油と酢の乳化
他全十三テーマ

それぞれのテーマについて、その世界のプロが計画し、部材を手作りで用意し、皆で相談して小学生に分かりやすい説明や言い回し方を工夫しています。

私は単なるお手伝いしかしていませんが、テーマリーダーの皆さんの熱意には、本当に頭が下がります。

実験で何かの現象が現れた時の子供たちの歓声は本

当に素晴らしく、時間を割いて参加した心が満たされます。それを肴に飲む反省会はまた楽しいものです。ダイレクトフォースも本当に社会に奉仕できる団体になってきた、と感じるこの頃です。

(元大成ユーレック株式会社社会長)